太陽光発電は停電時でも電気が使えます。※1

京セラ太陽光発電システム

皆さん、ご存知ですか？
太陽光発電システムを設置しているお宅が停電になった場合、
日射量に応じて※1電気機器を使うことができます（自立運転機能）。

発電した電力を例えばこのような電源に使えます※2

（曇りや雨の時は使えない場合もあります）

- 携帯電話の充電（5W程度）
- ラジオの視聴（20W程度）
- 冷蔵庫の待機電力（150-600W程度）
- 電気ポットの湯沸かし（1,000W程度）

※2：出力合計最大1,500Wまで

▶自立運転機能の利用方法

パワーコンディショナ（詳しくは裏面へ）を操作することにより「自立運転機能」が働き、太陽光さえあれば、日射量に応じて発電した電力を非常用電源として使用できます。
（AC100V、出力合計最大1.5kVA）

①運転スイッチを「切」

②外部サービスブレーカーを「OFF」

③運転スイッチを「入」

④専用コンセントに使用したい電気製品をつなぐ

⚠ご注意ください！

●供給される電力は不安定です。生命に関わる機器は絶対に接続しないでください。●最大出力は1.5kVAですが、ポンプやモーター等、起動時に大きな電力を必要とするものには使用できない場合があります。●日射量によっては途中で発電が停止する場合があり、機器の故障につながることがあります。●自立運転は切り替え操作が必要です。停電時に自動的に切り替わるものではございません。●機器やお客様の手などが濡れた状態でスイッチを入れると、感電や機器故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。

（上の写真はPVN-403（F）の場合です。パワーコンディショナの機種によって切り替え方法は異なります。）

株式会社 京セラソーラーコーポレーション